

第3回プラストンに基づく変形現象研究会

共催：京都大学 構造材料元素戦略研究拠点

近年、計算機と計算技術の進歩により、大規模な第一原理計算に基づいて金属結晶中の転位芯構造や不純物との相互作用エネルギーなどを定量的に評価することが可能になりつつある。本研究会では、この分野で世界を先導しているわが国の2名の研究者を招き、計算の現状について理解を深めるとともに、実験的知見と理論計算結果とを対応させて活発な議論を行う。

日時 2014年4月21日(月) 13:00~17:10

場所 京都大学吉田キャンパス本部構内 工学部物理系校舎 316 セミナー室
(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)

プログラム

13:00~15:00

(1) 転位の第一原理計算における計算テクニック

日本原子力研究開発機構 板倉 充洋

(休憩：15:00~15:20)

15:20~16:20

(2) 電子・原子論に基づく Fe-Si 合金の転位解析と降伏応力の評価

大阪大学・基礎工 譯田 真人

16:20~17:10

Discussion

企画責任者 乾 晴行 (京都大・工)

参加費 無料 (参加人数確認のため可能な限り事前参加申し込みください)

申込・問合せ先 4月16日(水)までに E-mail または FAX にて、氏名、所属、電話番号を明記してお申し込み下さい。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学 構造材料元素戦略研究拠点
大石 毅一郎
TEL: 075-753-5573, FAX: 075-753-5578
E-mail: admin@esism.kyoto-u.ac.jp